

令和5年1月22日
執行
筑紫野市長選挙

選挙公報

筑紫野市
選挙管理
委員会

『住みたいまち日本一』を目指します



トップが変われば市政が変わる。今こそ、世代交代！

子どもたちが輝き、高齢者が安心して暮らせる『ふるさと』にするために、子育て及び教育環境の充実、産業活性化に向けた基盤づくり、環境対策、安全・安心なまちづくりに全力で取り組みます。

【皆様へのお願い】

私は、大学、企業、県議で得た専門知識と経験を活かし「選ばれるまち」を目指して、政策を実践する夢を持ち続けてきました。今回、地域の皆様にも薦められ、立候補させて頂きました。投票日が同様に迫り、皆様のお力添えを今一度お願いできればと思っております。どうか、宜しくお願いします。
合掌 平井一三

1. 子育て・教育・人材育成

子供は筑紫野市の宝。筑紫野市の子供は筑紫野市が責任を持って育て、筑紫野市で育った子供が未来の筑紫野市を創ります。

- ◆妊娠・出産・産後期から子育て期までの子育て世代包括支援体制の推進
- ◆児童・生徒の学力・体力の向上
- ◆グローバル人材育成学童プログラム等の検討

2. スポーツの振興

全ての市民が年齢やレベルに応じてスポーツを楽しめる『スポーツのまち筑紫野』を目指します。

- ◆スポーツ施設の整備、指導体制の充実
- ◆体育協会・各種競技団体などの連携強化

3. 環境対策

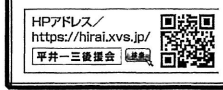
環境保全と循環型社会への取り組みを推進します。

- ◆SDGsの啓発、3R、脱炭素社会への取り組み強化
- ◆ごみの不法投棄や産業廃棄物処理など法令順守の強化

自民党筑紫野市支部推薦



無所属
ひら い かず み
平井一三
(68歳)



◆これまでの主な役職など

- 県土整備常任委員会委員長
- 厚生労働環境常任委員会副委員長
- 子育て支援・人材育成調査特別委員会委員
- 福岡県ソフトボール協会副会長
- 自由民主党筑紫野市支部支部長
- 技術士(総合技術監理)、環境カウンセラー

◆主な経歴

- 昭和29年 筑紫野市針摺に生まれる
- 昭和42年 二日市東小学校卒
- 昭和45年 二日市中学校卒
- 昭和48年 福岡大学付属大濠高等学校卒
- 昭和53年 九州工業大学開発土木工学科卒
- 昭和53年 建設会社入社
- 平成11年 コンサルタント会社入社
- 平成16年 家業を継承
- 平成19年 筑紫野市議会議員初当選
- 平成23年 福岡県議会議員初当選
- 平成27年 福岡県議会議員2期目再選
- 平成31年 福岡県議会議員3期目再選

皆様とともに
もっと！ひかり輝く筑紫野市づくりを！

さらなる挑戦！

未来をつくる	共助社会 づくり	生活をまもる	産業・雇用を つくる	行財政改革
●子どもたちの学び舎の整備 ●青少年の健全育成と生涯学習の推進	●自助・共助・公助による更なるまちづくりの推進 ●皆様のご意見を直接お聴きする移動市長室の継続実施	●災害への更なる備えとなる宝満川、山口川の河川改修 ●人権尊重のまちづくり	●JR二日市駅西側乗降口や、天拝公園などの一体的な整備による観光振興 ●有害鳥獣駆除の推進や、地産地消の推進による農業の活性化 ●新たな企業の誘致による更なる雇用の創出	●まちづくりの奉仕者となる市職員の育成 ●ふるさと納税の増加、謝礼品の拡充 ●第六次筑紫野市総合計画の評価、検証と、これらを反映した新たな計画の策定



無所属
ふるじた陽三
80才

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

令和5年1月22日
執行
筑紫野市長選挙

選挙公報

筑紫野市
選挙管理
委員会

投票日

1月22日

◆投票時間 午前7時～午後8時

◆期日前投票 1月16日(月)～1月21日(土)

・場所 市役所1階多目的ホール

・投票時間 午前8時30分～午後8時

職員定数(定数管理調査)
筑紫野市/473名
春日市/402名
那珂川市/270名

人づくり
教育
挑戦

選挙は企業団体の支援をどれだけ多く取り付けたかで勝敗が決まるとされる。しかし、勝った後に「この子を保育所に」「うちの子を職員に」「この世帯を生活保護に」「うちの会社を入札業者に」「トンネルを掘らせて」「ここにマンションを」「産廃場の許可を」「唐津ポルトも」「職員定数を増やせ」と続く。そんなことだから、冴えない建物が街に建ち、地場や人材が育たず垢抜けたお洒落な街並に

役所は前例主義であり、なかなか新しい社会課題に対応できません。未来の役所は現場から課題を聞く「公聴機能」を働かせ「これは役所」「これは市民団体」「これは民間」と振り分け、解決するしくみを作らなければなりません。人が育っていない自治体は外注に頼る事になりますが月々の支払いが増え財政は圧迫し、福祉(保育・介護)が受けられない住民がでてきます。私はまず公聴機能を発揮するためまず行政区全てに担当職員(兼職)を張り付け御用聞きに伺い住民側に立つ条例(しくみ)を創ります。予算編成方針は必ず他市町村の先進例との比較を添付させ研究し、外注ではなく内製に努めます。筑紫野市の持つ施設・土地は低額で開放しコミュニティービジネスを育て新しい事に挑戦しますそのためにはあなたの1票が必要です!

ほど遠くなる。私はたとえ私を敵視する書き込みをする者であっても住民のために最高の仕事をすることが出来るなら躊躇わず頭を下げて仕事をお願いする。レジにならんでいる時、横から割り込まれたら腹が立つ。一人一人の市民の目が肥え、今、筑紫野市に求められるもの。公正公平を保つのが民主主義。声を上げたことも上げられない社会を子ども達に残してはならない。



浜武しんいち経歴●昭和40年10月23日生、東京都大田区出身、昭和49年1月に筑紫野市むさしヶ丘に転居山口小、二日市小、東福岡高卒、工業デザイナー、久留米大学法学部卒、光が丘数学教室開講、ラジオ番組制作筑紫野市議3期、福岡チャータースクール代表取締役、教育系ユーチューバー、21世紀私塾連盟顧問家族・弘子(妻、旧姓平山)、筑紫野市山口在住、趣味・レコードコレクター、温泉、グルメ巡り、乗り鉄



はまたけ
浜武しんいち

無所属

57才

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)